



令和 7 年 4 月 24 日

広島大学 原爆放射線医科学研究所
被爆 80 年企画のお知らせ

1. 企画趣旨

旧名が「原爆放射能医学研究所」である原爆放射線医科学研究所（以下、原医研）では、「原爆」の「医学」に由来を持つ研究所として、被爆と復興の 80 年となる本年、1 年を通して、原医研ならではの企画を発信していきます。

<特徴>

▼広島大学の一員としての、原医研ならではの発信

▼原爆からの医学研究：80 年間で変化・発展した医学研究（医科学研究）の発信

▼広島「社会」、地球規模の「国際社会」を意識する大学と研究所としての発信

2. 企画（6 件）

（1）地域交流、地元・広島での発信【市民講座】（終了）

『栗原明子さんと南方特別留学生』（2025 年 3 月 1 日実施）

＊立命館大学国際平和ミュージアムの特別協力を得ました。

（2）もう 1 つの被爆地・長崎との連携（長崎開催）【特別企画展示】

『グビロが丘の祈り フェニックスの誓い』（長崎大原研と共同）

＊2025 年 7 月～8 月、10 月 ＊長崎大学医学部、IPPNW 長崎大会と連動

（3）地域の医師会（県・市）との連携【広島県医師会館展示協力】

『ヒロシマ医師の被爆 80 年』 ＊2025 年 8 月 3 日より開始予定

（4）もう 1 つの被爆地・長崎との連携（広島開催）【特別企画展示】

『グビロが丘の祈り フェニックスの誓い』（長崎大原研と共同）

＊2025 年 10 月～12 月 ＊医学部医学資料館での資料展示

＊日本放射線影響学会、原爆後障害研究会、パグウォッシュ会議に出展予定

（5）広島大学の医学者・科学者とノーベル平和賞受賞組織【シンポジウム】（案）

『ノーベル平和賞受賞の科学者組織と広島大学（仮題）』（2025 年末予定）

＊本年広島と長崎で開催されるノーベル平和賞受賞組織の IPPNW とパグウォッシュ会議の世界会議と、それにかかわる広島大学教員および学生などによる、大学ならではの学術発信を行う。

（6）広島大学の医学のこれまでとこれからの発信【シンポジウム】（案）

『広島大学霞キャンパスの被爆 80 年現在地（仮題）』（2025 年末予定）

＊原医研をはじめ、大学病院、医系の研究組織を持つ霞キャンパスからの発信

＊霞キャンパスにおける医学研究や医療、教育、社会活動などについて、原爆被爆の問題を含む「これまで」のことを振り返り、「これから」の展望を発信する。

【お問い合わせ先】

広島大学霞地区運営支援部総務グループ（原医研主担当）
TEL:082-257-5802 FAX:082-255-8339